

2022年度
(令和4年度)

事業報告書

目次

I	2022年度事業報告	2
	1. 国内における平和構築活動	2
	2. 海外における平和構築活動	10
II	組織	13
III	会議	16



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

2022 年度事業報告にあたって

ビジョン「Peace for Tomorrow」の実践

2022 年 2 月 24 日に始まったロシアによるウクライナへの侵攻は、「Peace for tomorrow 広げよう平和の心」をビジョンに掲げる私たちにとって大きな衝撃でした。私たちは直ちに声明を発表するとともに「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」を立ち上げました。多くの企業・団体から協力と共に各地のユネスコ協会・クラブの多くが、新型コロナウイルスの影響が残る中でも街頭募金等を実施しました。結果として 8,000 万円を超える募金が集まり、ウクライナ避難民への人道支援を実施いたしました。2022 年度は、こうした平和を取り戻すための取り組みから始まりました。

コロナ禍の活動展開

私たちの活動は、この 3 年間新型コロナウイルスの影響をまともに受け、特に各地ユネスコ協会・クラブの活動は大きな制限を受けてきました。しかし、今年度後半からウイズコロナが徐々に定着し始め、ユネスコ協会・クラブの皆さまのご尽力により、全国大会や多くのブロック研究会が対面式で行われました。一方、会議等をオンラインやハイブリッド方式で行うなどの効率性や利便性も生み出し、さまざまな情報共有の手段が活用できるようになりました。今後もこのような電子媒体を上手く利用しながら、ユネスコ活動を展開してまいりたいと存じます。

複雑さを増す国際情勢の中の世界寺子屋運動

「世界寺子屋運動」は、多くの方々の長年にわたるご協力によりカンボジア、ネパールでは順調に活動を実施しています。しかしながら、アフガニスタンとミャンマーでは、活動休止を余儀なくされております。現在、活動再開に向けて情報収集等を行い、再開の機会を探っています。

新しい取り組み

2021 年度に開始した「災害子ども教育支援」では、自然災害において被災した生徒への奨学金支援（返還不要）、被災により破損した学習に必要な物品購入費の支援を実施するなど本格的な展開が始まりました。本事業をさらに軌道に乗せるべく皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

また 2022 年度は、地域協働型包括教育支援事業「U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～」のテストランを開始し、国内で困難な状況に置かれた子どもたちを支援するプログラムを行いました。2023 年度から正式な事業としてこのプログラムを実施いたします。

さて、2022 年度は ACCU（ユネスコ・アジア文化センター）との統合については諸事情から延期となりましたが、本件については引き続き、検討してまいります。

2023 年度は、アフターコロナという新しい時代に呼応した民間ユネスコ運動を推進できるよう取り組んでまいります。

I 2022年度事業報告

1. 国内における平和構築活動

(1) 子ども教育支援

子どもたちが安心して就学できる環境を整備する教育支援および質の高い教育を提供するプログラム支援を行う。

① 自然災害の被災地における教育復興支援

自然災害によって被災した児童・生徒を対象にした奨学金の給付等の教育支援を行う。

(a) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災で被災し、経済状況が悪化した家庭の子ども（中学3年生～高校2年生）を対象に、給付型奨学金（一人当たり2万円/月・3年間・返還不要）を継続して実施した。

2022年度は2020年度・2021年度に採用した奨学生への2年目、3年目の給付および2022年度に新規採用した奨学生への1年目の給付を行い、計429名を支援した。また、ユネスコ協会就学支援奨学金の募金者や会員などに対し、当事業の成果を報告するために、「ユネスコ協会就学支援奨学金レポート2021」を4,000部制作し配付した。

(b) MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働で、東日本大震災で、遺児・孤児となった子どもたちが小学校入学から高校を卒業するまでの奨学金プログラムを継続して実施した。2022年度は196名に2万円/月の奨学金（返還不要）を給付した。

(c) 災害子ども教育支援

自然災害によって被災した国内の学校等を対象にした助成や、被災生徒を対象にした奨学金支援（返還不要）、復興ボランティアを行う青年等に対する支援を開始した。

2022年度は対象となった災害において被災し、支援申請のあった福島県の小・中学校4校と静岡県の高校1校に対して、被災により破損した学習に必要な物品購入費の支援（計1,277,372円）を実施した。

② SDGs達成に向けた次世代育成

持続可能な社会の実現のために、教員や学校に対する教育研修プログラムを行う。

(a) アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

アクサ生命保険株式会社の協力で、学校現場における防災・減災教育推進を支援した。

- 1) 助成校26校を採用（公募）し、1校につき10万円の助成金を支給した。
- 2) 2022年9月21日～23日、教員研修会を実施。（仙台市、気仙沼市）2022年度助成校教員26名および2021年度助成校教員12名、計38名が参加した。
- 3) 2023年2月10日、活動報告会を実施。2022年度助成校教員26名が参加した。
- 4) 2023年2月11日、減災教育フォーラム（一般公開）を実施。（東京都、オンライン配信）教員、教育関係者他203名が参加。基調講演、パネルディスカッション、被災地の学校の実践事例等により、減災の知見を深めた。

(b) 教育ツール開発事業

児童・生徒がSDGsへの取り組み、特にSDG4. 6の非識字という世界的課題を学び、リーフレットの制作を行う等、教育ツールを開発する事業への支援を行った。世界寺子屋運動をテーマに学び、身近な国際協力のきっかけとする学習プロジェクト「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」には、全国の小・中・高等学校から26校1,800名が参加した。

(c) ユネスコスクール推進事業

青少年へのユネスコ活動普及のために、全国のユネスコスクール等を対象とし、SDGsへの取り組み活動を、株式会社三菱UFJ銀行の協力を得て支援した（第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト）。2022年度は、申請92校のうち83校に対して助成を行った。また、12月にオンラインで助成校による活動報告会を小学校（6校）、中・高等学校（5校）の2回に分けて実施した。

③ その他の類する事業

U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～／略称：U-Smileプログラム

国内で困難な状況に置かれている子どもたちを対象に、地域のユネスコ協会、団体、行政、企業、地域住民等と連携した、教育支援、居場所支援等の地域協働型の包括的教育支援事業に向けたテストランを下記のユネスコ協会で開催した。

2022年

- 1) 9月20日 高松ユネスコ協会：ユネスコ子育てサロン
- 2) 10月15日 ふくいユネスコ協会：ふくいユネスコフォーラム
- 3) 12月11日 維新隊ユネスコクラブ：食事付無料学習塾
- 4) 12月17日 宇部ユネスコ協会：おかねを学ぶ教室

2023年

- 5) 3月18日 箕面ユネスコ協会：子ども支援にかかわる研修会
- 6) 3月27-29日 宇部ユネスコ協会、沖縄県ユネスコ協会、協働：沖縄体験旅行

(2) 地域遺産・世界遺産の保護保全・啓発

世界遺産ならびに地域の文化や自然の保護・保全、啓発活動を行う。

① 地域遺産の保護・保全支援

地域の文化や自然の保護・保全活動を支援し、次世代への継承を行う。

(a) 未来遺産運動

100年後の子どもたちに文化や自然を継承することを目指し、地域で活躍する団体を顕彰し、応援することを目的に、東日本旅客鉄道株式会社、住友ゴム工業株式会社、ジェットスター・ジャパン株式会社、読売新聞社等の協力・後援を得て実施した。

コロナ禍以来3年ぶりとなる「プロジェクト未来遺産」の募集には全国から33件の応募が寄せられた。各分野の専門家による書類選考と現地調査を行った上で、2023年2月28日に開催した未来遺産委員会にて「プロジェクト未来遺産2022」を6件決定した。

—「プロジェクト未来遺産2022」(プロジェクト名、団体名/所在地)—

- 1) 沼須人形芝居継承者プロジェクト～江戸時代の技を今につなぐ～
(沼須人形芝居あけぼの座/群馬県沼田市)
- 2) こんぶくろ池自然博物公園～市民で育てる百年の森プロジェクト～
(特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森/千葉県柏市)
- 3) 若狭町の歴史遺産の縄文文化を全国へ
(若狭三方縄文博物館友の会「DOKIDOKI会」/福井県三方上中郡若狭町)
- 4) 源流大学～知識だけでなく、生きた知恵を次世代へ～
(特定非営利活動法人 多摩源流こすげ/山梨県北都留郡小菅村)
- 5) 三石灯りの街～子どもたちと伝える耐火煉瓦で栄えたまちの記憶～
(Mプロジェクト協議会/岡山県備前市)

- 6) 大東太鼓～北大東島の子どもたちが伝える開拓の文化～
(大東太鼓 北曙会/沖縄県島尻郡北大東村)

② 世界遺産の保護・保全支援

世界遺産カレンダー制作協力、世界遺産に関する各種問い合わせ対応などを引き続き行った。

③ その他の類する事業

(3) 多文化共生促進

国籍や民族等の異なる文化を認め合い、学び合い、共生に向けた相互理解を促進する。

① 国際理解・交流プログラム

当連盟の支援対象地域を含む国々の多様な文化を学び、相互理解を促進する機会を提供する。

(a) スタディツアー

当連盟の寺子屋運動実施国に派遣する参加者を公募の上、審査を経て、ユースや協力者等を派遣するプログラム。高校生を対象にしたスタディツアーは、かめのり財団との共催。2022年度はオンラインにて、2019年度参加者による企画・運営のもと2022年8月21日（土）に開催した。全国8校23名の生徒と、カンボジア事務所や現地の寺子屋、学習者の自宅などをオンラインでつなぎ、民間ユネスコ運動による国際協力を学ぶ機会を提供した。事後活動にも重点を置き、2023年3月に各校の取り組みをまとめた動画をYouTubeチャンネルにて公開した。

(b) 三菱アジア子ども絵日記フェスタ

三菱広報委員会およびAFUCAと共催し、アジア（24の国と地域）の6歳から12歳を対象とした絵日記コンテストを実施。日本で実施予定だった各国グランプリ受賞者の表彰式は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、2022年9月に日本国内でグランプリを含む優秀賞を受賞した8名による国内表彰式を実施した。また、絵日記作品のパネル展示会を横浜市や福岡市などで開催した。

② UNESCO関連団体との連携促進

UNESCOをはじめ、WFUCA（世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟）やAFUCA（アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟）と連携をはかり、民間ユネスコ運動を推進した。

(a) 世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟（WFUCA）の活動振興

世界で民間ユネスコ運動の普及のために活動する同連盟（WFUCA）と連携し、ユネスコ精神のさらなる普及を図るための情報交換を行った。

(b) アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興

アジア太平洋地域で民間ユネスコ運動の普及のために活動する各国の協会連盟と連携を図り、ユネスコ活動を推進した。「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」を共催するとともに、カザフスタンにおいて執行委員会を行い、役員選挙や各国連盟との情報交換を行った。

(c) UNESCO、関係団体との連携

UNESCO との協力協定（日本国内における UNESCO への資金調達）に基づき、UNESCO および「UNESCO 公式サポーター」企業との連携を行った。

③その他の類する事業

(4) 地域草の根推進

平和な社会の実現に向け、地域の課題解決に資する民間ユネスコ運動を推進する。

① 地域草の根プログラム

会員および開催地等の市民が集い、地域から平和を考える各種会合を行う。

(a) 第78回日本ユネスコ運動全国大会

民間ユネスコ活動推進のため1年に1回、全国の会員が集い、会員および開催地市民に、日ごろのユネスコ活動の情報提供を行うとともに、大会テーマについて研鑽を深めた。2022年度は、千葉県木更津市で開催し、約300人が参加した。

テーマ オーガニックシティ木更津からの発信

日程 2022年11月26日

会場 かずさアカデミアホール

主催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

千葉県ユネスコ連絡協議会（主管：木更津ユネスコ協会）

(b) ブロック別ユネスコ活動研究会（全国8ブロック）

民間ユネスコ運動推進のため、会員および開催地の市民を対象とした研究会を、全国8ブロックで開催した。

10月15日(土)北海道ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：旭川ユネスコ協会）

10月 8日(土)東北ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：青森県ユネスコ協会）

11月19日(土)中部東ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：飯田ユネスコ協会）

- 10月22日(土)中部西ブロック・ユネスコ活動研究会(主管:豊橋ユネスコ協会)
- 11月5日(土)近畿ブロック・ユネスコ活動研究会(主管:舞鶴ユネスコ協会)
- 10月15日(土)中国ブロック・ユネスコ活動研究会(主管:石見地区ユネスコ協会)
- 10月30日(日)四国ブロック・ユネスコ活動研究会(主管:徳島ユネスコ協会)
- 11月5日-6日(土,日)九州ブロック・ユネスコ活動研究会(主管:徳之島ユネスコ協会)

② ユースプログラム

青少年の育成に資する民間ユネスコ運動を推進する。

(a) (青少年) 活動助成

全国のユネスコ協会・クラブが行う青少年を対象としたSDGs実現に資する活動に対して、2022年度は合計で28件の助成を行った(助成総額:1,405,800円)。会員用ホームページ等にて募集し、審査を経て助成事業を決定した。

(b) 青年ネットワーク強化

青年評議員や全国的青年連絡組織等による青年のネットワーク強化を検討する会議の開催や、青年全国大会の支援等を行った。

(c) みどりの絵コンクール

環境意識の啓発を目的に、公益財団法人三菱UFJ環境財団との共催で、第47回「みどりの絵コンクール」を実施した。当コンクールへの応募総数27,894点の中から、最優秀賞9点・優秀賞32点・入選362点を選考した。また、2022年12月10日、東京都千代田区で最優秀賞の表彰式を実施した。

③ 活性化推進プログラム

民間ユネスコ運動の次世代の担い手(ボランティア)を育成し、さらなる活性化を推進した。

(a) 日ユ協連リーダーセミナー

これからの民間ユネスコ運動の担い手を対象にオンラインセミナーを実施した。

第1回 2022年10月21日(金)

「ウクライナ危機と民間ユネスコ運動」(参加者29名)

第2回 2022年12月14日(水)

「グッドプラクティス賞受賞団体の取り組みを知る」(参加者10名)

第3回 2022年1月21日(土)

「クラウドファンディングの基礎講座」(参加者14名)

第4回 2023年2月4日（土）

「ICTを活用した団体運営」（参加者13名）

(b) 民間ユネスコ運動顕彰事業（ユネスコ活動グッドプラクティス賞）

市民に開かれた他のユネスコ協会・クラブのモデルとなり、波及が見込まれる活動を公募した。2022年度は、審査を経て下記の3事業をグッドプラクティス賞として表彰した。

- 1) キリバス民間ユネスコ協会設立支援プロジェクト
（仙台ユネスコ協会）
- 2) 富山ESD推進プロジェクト
（富山ユネスコ協会）
- 3) 「歴史と文化と紙の町 四国中央」地域遺産カレンダー
（四国中央ユネスコ協会）

(c) 民間ユネスコ運動の普及、促進

民間ユネスコ運動の日（「平和の鐘を鳴らそう」等含む）の普及、ユネスコ協会の新設、ユネスコ協会便の配信、動画配信、文科省・日本ユネスコ国内委員会等との連携を行った。

④その他の類する事業

(5) 普及広報・財務強化

UNESCO憲章の理念に基づき、平和や教育、文化等の重要性を発信し、SDGs達成に寄与する。

①広報・PR

社会を巻き込み、当連盟が取り組む活動の認知向上を目指して広報・PRを行う。

(a) 機関誌、活動レポート、ホームページ、メールマガジン、YouTube、プレスリリース、SNS等における広報・PR

(b) 後援・共催等、他社主催事業・イベントへの協力

名義後援の対応を行い、日本ユネスコ協会連盟賞等を授与した。

②ファンドレイジング施策

SDGsの達成のために、賛同者を増やし、財政基盤の安定・拡大をはかる。

(a) 募金増強施策の実施

遺贈に関する広報施策の実施や、新規事業のパンフレット等の広報ツールを制作・活用した。

(b) 寄付企画、会員拡充施策の実施

会員の拡充および企業等との連携強化を通じたファンドレイジング活動を実施した。

③その他の類する事業

2. 海外における平和構築活動

(1) 途上国における教育支援

途上国において、公的教育を受けられない大人や子どもを対象に、基本的人権である教育の機会を提供する。

①識字教育支援（世界寺子屋運動）

現地の教育省等と連携し、教育を受けられなかった大人や、公教育を受けられずにいる子どもたちへの識字教育支援、技術訓練等を行った。

(a) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

政変の影響により2021年8月以降の活動を休止しているが、事業の再開に向け、教育省を含む関係省庁やNGO、国際機関より情報収集を行った。2023年度中に成人（15歳以上）の識字教育、技術訓練等をカブール県内において実施すべく、教育省と交渉を行った。

(b) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シェムリアップ州教育局と連携し、ワリン郡に寺子屋1軒の建設を行った。加えて、成人（15歳以上）を対象とした識字教育や、学校を中途退学した子どもへの支援として公教育への復学支援クラス、さらに幼稚園クラスを実施し、約1,100名に学びの機会を提供した。

(c) ネパール

世界遺産「ルンビニ」地域の3郡において新型コロナウイルスの影響を受けた子どもを対象とした幼稚園クラス、初等教育クラスおよび生徒の親への識字クラスや収入向上活動、女性の権利に関する啓発活動を行い、合計で2,193人が学んだ。また、ネパール東部のスンサリ郡マデシ地域において新しい寺子屋の建設が完了した。

(d) ミャンマー

政変の影響により2021年3月以降の活動を休止しているが、「中途退学児童生徒のための継続教育プログラム（識字・ライフスキル教育）」の再開に向け、対象地域であるバゴー地域での状況や軍事政権による教育活動について国連機関や現地NGOから情報収集を行った。

②識字教育普及促進プログラム

各地ユネスコ協会・クラブ、企業、団体、ユネスコスクール等と連携し、世界の識字問題の理解促進をはかる。

(a) 書きそんじハガキキャンペーン

2022年12月から2023年5月までを強化期間として、各地のユネスコ協会・クラブおよび企業、団体、個人の方々へのPR活動を行った。また、企業の協力を得て、雑誌や新聞、ラジオ等でも回収を呼び掛けた。

③その他の類する事業

(a) 他社主催イベントへの協力

NHK主催の教育コンテンツの国際コンクール「第49回日本賞」において、途上国のESD推進に寄与する優れた番組企画としてバングラデシュの「Adamant Studios (アダマント・ストゥディオズ)」が制作した企画「The Story of the Dew (しずくの物語)」に「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与した。

(b) 東ティモールにおける理数教育強化プロジェクトへの協力

株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングによる、UNESCOジャカルタ事務所の受託プロジェクトで開発した教材のうち、ESD関連の教材作成に協力した。

(2) 途上国への医療・食糧支援（一杯のスプーン）

途上国のアジア諸国における貧困層を対象に無償の医療、食糧支援を行う。

①医療・食糧支援（一杯のスプーン）

世界寺子屋運動を展開しているネパール、アフガニスタンにおいて、無償で医療・食糧支援を行う。

(a) ネパール

ルンビニの寺子屋が行う巡回健診や眼科検診、地域の人びとへの母子保健に関する研修を実施し、2,989人が健診や研修に参加した。また、血圧計や体温計などの備品を寺子屋に提供した。

(b) アフガニスタン

カブール市内のクリニックでの医療活動や薬の提供、リハビリ治療などをはじめ、栄養状態の悪い乳幼児への食料支援を行い、累計で約5万5千人がクリニックを利用した。

②その他の類する事業

ウクライナ情勢を受け、2022年3月4日に「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」を開設した。ルーマニア・ユネスコ協会センタークラブ連盟、チェルノフツィ・ユネスコ文化センター（ウクライナ）、シグヌス科学ユネスコ協会（ルーマニア）およびピープル・イン・ニード（スロバキア）との連携のもと、ウクライナからルーマニアやスロバキア国境付近の地域に避難してきた人びとへの生活物資支援や一時滞在支援、メンタルケアなどを実施した。

（3）世界遺産保護・保全支援

人材の育成や修復、世界遺産教育等を通じて、世界遺産の保護・保全を推進する。

① 世界遺産保護、保全支援

アジア諸国の世界遺産を中心に、修復技術の移転、人材育成、世界遺産教育を行った。

（a）カンボジア

2022年11月22日～24日の3日間に分け、寺子屋で学ぶ18クラス、261名の子どもたちを対象にアンコール遺跡を訪問するスタディビジットを実施した。

また、寺子屋の指導者および小学校教員を対象に、事前研修会を2021年11月に開催した。

子どもたちは教室内で学んだ後、スタディビジットで遺跡を訪問するため、授業では塗り絵をしながら寺院にあるモチーフの意味を紹介し、遺産への愛着を深めた。

②その他の類する事業

Ⅱ 組織

(2023年3月31日現在)

1. 理事 (26) (五十音順) (* 代表理事)

会長	佐藤 美樹*	朝日生命保険相互会社 特別顧問	非常勤<維持>
副会長	青木 保	ICOM日本委員会 顧問	非常勤<賛助>
副会長	大津 和子	北海道ユネスコ連絡協議会 会長	非常勤<個人>
理事長	鈴木 佑司*	法政大学名誉教授	非常勤<個人>
理事	安達 仁美	信州大学教育学部 准教授	非常勤<個人>
理事	今村 信大	磐田ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	及川 幸彦	奈良教育大学 准教授	非常勤<個人>
理事	小山田 隆	三菱UFJ銀行 特別顧問	非常勤<個人>
理事	片島 康彦	株式会社電通コーポレートワン 総務センター 社会貢献部 ディレクター	非常勤<維持>
理事	木曾 功	元UNESCO政府代表部 特命全権大使	非常勤<会推>
理事	小竹 三恵子	ふくいユネスコ協会 副会長	非常勤<構成>
理事	佐藤 直子	杉並ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	土居 英雄	松山ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	中谷 祐太	公益社団法人仙台ユネスコ協会	非常勤<青年>
理事	中山 峰男	熊本ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	長坂 亮介	長野ユネスコ協会 理事	非常勤<青年>
理事	南口 純一	公益財団法人全国税理士共栄会文化財団 顧問	非常勤<維持>
理事	二瓶 和敏	木村晋介法律事務所 弁護士	非常勤<会推>
理事	廣田 美貴子	札幌ユネスコ協会 副会長	非常勤<構成>
理事	牧 貞夫	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 相談役	非常勤<維持>
理事	松岡 盛人	広島ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	見上 一幸	公益社団法人仙台ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	安田 昌則	大牟田市教育委員会 前教育長	非常勤<個人>
理事	山中 健	芦屋ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	吉崎 晴子	認定特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 顧問	非常勤<構成>
理事	吉田 敦彦	大阪公立大学 大学院教授	非常勤<会推>

(注) <構成> : 構成団体会員代表、<賛助> : 賛助団体会員代表、<個人> : 個人会員代表、
<維持> : 維持会員代表、<青年> : 青年代表、<会推> : 会長推薦

2. 監事 (3)

監事	齋藤 晴正	株式会社増田屋コーポレーション	代表取締役社長	非常勤
監事	永野 博	港ユネスコ協会	顧問	非常勤
監事	増田 正志	増田公認会計士事務所	公認会計士	非常勤

3. 名誉会長 (1)

大橋洋治

4. 顧問 (11)

加藤玲子	児島 仁	千 玄室	千葉果弘
西村幸夫	野口 昇	濱中昭一郎	福原義春
松浦晃一郎	村田昌志	米田伸次	

5. 評議員数

会員種別	人数	定員
構成団体会員	100人	100人以内
(うち青年代表)	(9人)	(9人以内)
(うち国内委員会委員)	(9人)	(9人以内)
賛助団体会員	3人	5人以内
個人会員	19人	30人以内
維持会員	14人	15人以内
計	136人	150人以内

6. 会員数

会員種別	2021年度末	減	増	2022年度末
構成団体会員	274	2	4	276
賛助団体会員	17	0	1	18
個人・終身個人会員	211	27	2	186
維持会員	144	2	2	144
計	646	31	9	624

7. 会員の異動

構成団体会員

<入会> 4

八千代ユネスコ協会

2022年5月21日第548回理事会承認

大牟田地方ユネスコ協会

2022年9月10日第550回理事会承認

淡路島ユネスコ協会

2022年9月10日第550回理事会承認

中央区ユネスコ協会

2023年1月14日第552回理事会承認

<退会> 1

草加ユネスコ協会、

<除名> 1
千代田ユネスコ協会 2022年10月1日第74回臨時総会決議

賛助団体会員

<入会> 1
一般社団法人日本コミュニティ放送協会 2022年9月10日第550回理事会承認
<退会> 0

個人会員

<入会> 2
鈴木 郁香 2022年5月21日第548回理事会承認
田村 邦雄 2023年1月14日第552回理事会承認
<退会> 26
<除名> 1

維持会員

<入会> 2
城北化学工業株式会社 2023年1月14日第552回理事会承認
MITホールディングス株式会社 2023年3月11日第553回理事会承認
<退会> 2

8. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(2023年3月末現在)

北海道	押谷 一	(江別ユネスコ協会会長)
東北	藤本 恵子	(秋田ユネスコ協会副会長)
関東・甲信越	松本 千恵子	(群馬県ユネスコ連絡協議会事務局長)
関東・甲信越	小池 治	(特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会理事)
中部	高木 要志男	(富山ユネスコ協会会長)
近畿	大濱 淳子	(大阪府ユネスコ連絡協議会監事、箕面ユネスコ協会副会長)
中国	鈴木 昌徳	(岡山県ユネスコ連絡協議会会長、津山ユネスコ協会会長)
四国	吉田 達哉	(新居浜ユネスコ協会会長)
九州	丸尾 直彦	(大分県ユネスコ協会連盟会長)
全国的連合組織	佐藤 美樹	(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長)
全国的連合組織	鈴木 郁香	(柏ユネスコ協会理事)

Ⅲ 会 議

1. 総会

第73回定時総会

日 時 2022年6月25日(土) 14:30-16:30

場 所 大手町サンスカイルーム 27階A室及びオンライン (ZOOM)

議 長 会長 佐藤 美樹

議決権を有する社員の総数 643名

総議決権数 643個

出席社員数 480名 (委任状提出者を含む)

出席の社員が有する議決権数 480個

議 題

【決議事項】

第1号議案 2021年度事業報告書(案)及び計算書類等(案)

第2号議案 ACCUとの合併に係る定款等の改定 (案)

【報告事項】

2022年度事業計画書及び収支予算書

第74回臨時総会

日時 2022年10月1日(土) 14:30-16:55

場所 新宿エルタワー サンスカイルームA室及びオンライン (ZOOM)

議決権を有する社員の総数 627名

総議決権数 627個

出席社員数 433名 (委任状提出者を含む)

出席の社員が有する議決権数 433個

議 題

【決議事項】

第1号議案 ユネスコ・アジア文化センターとの合併延期について

第2号議案 定款第64条委員会からの報告を受けた個人会員の除名について

第3号議案 定款第64条委員会からの報告を受けた構成団体会員の除名について

2. 理事会

第548回理事会

日 時 2022年5月21日(土) 14:00-16:30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

議 題

I. 第547回理事会議事要録の確認 (3月末に内閣府提出済)

II. 決議事項

1. 会員の入会

2. 2021年度事業報告書(案)及び2021年度計算書類等(案)
 - (1)2021年度事業報告書(案)
 - (2)2021年度計算書類等(案)
3. ACCUとの統合に伴う定款・関連規程の改定(案)及びACCUとの合併契約書(案)
4. 定款第64条委員会からの報告と対応
5. 第73回定時総会の開催(案)
6. 2023年度全国大会の開催(案)
7. 代表理事の他団体役員就任の件

Ⅲ. 協議事項

・部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告(「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」「東日本大震災子ども支援」「災害子ども教育支援」/「日本における子どもの貧困問題に対する取り組みについて」)
2. 2021年度 事業進捗報告
3. 代表理事の職務執行状況報告(2022年3月12日～2022年5月20日)
4. 後援・共催事業
5. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
6. その他

第549回理事会

日 時 2022年6月25日(土) 12:45-13:45

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 20名 ※理事総数26名

議 題

I. 第548回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 第73回定時総会への会員議案提出の取り扱いについて
2. 第74回臨時総会以降の会員議案提出の取り扱いについて
3. 第74回臨時総会および第550回理事会の開催について
4. 日ユ協連事務局長の任命について

III. 報告事項

1. 第548回理事会での質問について
2. その他

第550回理事会

日 時 2022年9月10日(土) 14:00-16:40

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 24名 ※理事総数26名

議 題

I. 第549回理事会議事要録の承認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併について
3. 個人会員・構成団体会員に対する定款第64条委員会からの報告を受けた対応
4. 第74回臨時総会の開催(案)

III. 協議事項

・部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告(地域協働型包括教育支援事業 テストランの進捗状況)、(高校生カンボジアオンラインスタディツアー)、(災害子ども教育支援)
2. 2022年度事業進捗報告
3. 代表理事の職務執行状況報告(2022年5月21日-2022年9月9日)
4. 後援・共催事業
5. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
6. その他

第551回理事会

日 時 2022年11月12日(土) 14:00-16:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

議 題

I. 第550回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 役員(理事・監事)及び評議員の選任に関する選考委員会の設置

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（地域協働型包括教育支援事業 テストランの進捗状況）/（日ユ協連リーダーセミナー）
2. 第74回臨時総会の開催報告と今後の対応の方向性
3. 2022年度 中間決算報告
4. 2022年度 事業進捗報告
5. 代表理事の職務執行状況報告（2022年9月11日～2022年11月11日）
6. 後援・共催事業
7. 情報セキュリティ監査報告
8. 第55回評議員会議題
9. その他（2022年11月14日 内閣府立入検査について）

第552回理事会

日 時 2023年1月14日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 17名 ※理事総数26名

議 題

I. 第551回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 「用途指定のない遺贈の配分基準」における遺贈額と配分の変更(案)

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

2. 2023年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（地域協働型包括教育支援事業 テストランの進捗状況）/（ア
クサユネスコ協会 減災教育プログラム 減災教育フォーラムのご案内）/（第14

期ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクトオンライン活動発表会)

2. 選考委員会報告
3. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
4. 世界遺産活動新規事業の実施について
5. 第55回評議員会にて提出された意見(第55回評議員会議事要録)
6. 2022年度 事業進捗報告
7. 代表理事の職務執行状況報告(2022年11月13日～2023年1月13日)
8. 後援・共催事業
9. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
10. 日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任
11. 第56回評議員会 議題(案)
12. その他
 - ①内閣府立入検査(11月14日)の結果
 - ②映画「ラーゲリより愛を込めて」の推薦

第553回理事会

日 時 2023年3月11日(土) 14:00-16:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 23名 ※理事総数26名

議 題

I. 第552回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 地域協働型包括教育支援事業
「U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～」の立上げについて
3. 2023年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1)組織部会
 - (2)定款・諸規程改定検討部会
 - (3)世界寺子屋運動部会
 - (4)地域代表・青年代表理事会議
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

IV. 報告事項

1. 「トルコ・シリア大地震緊急募金」の実施
2. 担当理事からの報告(アクサユネスコ協会 減災教育プログラム 減災教育フォーラムの報告)、(プロジェクト未来遺産)
3. 第56回評議員会にて提出された意見(第56回評議員会議事要録より)
4. 選考委員会報告

5. 2022年度 事業進捗報告
6. 2023-2024年度の諸会議運営・スケジュールについて
7. 代表理事の職務執行状況報告(2023年1月15日～2023年3月10日)
8. 事務局人事について
9. 後援・共催事業
10. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
11. その他

3. 評議員会

第55回評議員会

日 時 2022年12月3日(土) 14:00～16:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 73名 ※評議員総数 136名

議 題

・第54回評議員会 議事要録の確認

1. 2022年度 事業進捗報告
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併延期について
3. 日ユ協連個人会員炭谷宇紀子氏及び千代田ユネスコ協会の除名について
4. 次期役員改選(2023-24)実施の変更点について
 - ・構成団体会員評議員・理事の選出方法の変更について
 - ・評議員・理事 定数の改訂について

第56回評議員会

日 時 2023年 1月28日(土) 14:00～16:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 75名 ※評議員総数136名

議 題

・第55回評議員会 議事要録の確認

1. 日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任
2. 2022年度 事業進捗報告
3. 2023年度 事業計画書(案)・収支予算書(案)
4. ご講演 文部科学省国際統括官付国際戦略企画官 白井 俊 様
【テーマ】最近のUNESCOの動向と日本の役割

4. 理事会運営体制

(1) 部会等（2022年4月～2023年3月まで）

第531回理事会（2019年7月20日）で設置を承認。

①部会

ア. 組織部会

今後の組織（構成団体会員、個人会員）の活性化、特に次世代育成のための中長期ビジョンの策定。

◆テーマ・課題

- ・加盟協会・クラブの活性化のための調査、施策形成
- ・個人会員の在り方の検討
- ・次世代育成のための調査と施策形成
- ・ユネスコ国内委員会（同小委員会を含む）との連携の推進、共創プラットフォームとの協働
- ・構成団体の新規登録への資格審査

◆構成メンバー

部会長：大津和子（副会長）

部会員：安達仁美（理事）、佐藤直子（理事）、長坂亮介（理事）、
串田昭光（評議員、高崎ユネスコ協会）

◆開催日

2022年5月13日、2022年8月24日、2022年11月8日、2023年1月10日、2023年2月24日（すべてオンライン開催）

イ. 財務部会

◆テーマ・課題：

- ・財務構造の明確化、財務基盤の強化策（維持会員の拡充や遺贈の増強等）
- ・広報担当理事と連携したメディア活用の在り方
- ・検討要請事項及び、正副部会長並びに事務局担当部との協議にて決定した事項

◆構成メンバー

部会長：牧貞夫（理事）

副部会長：平松哲郎（評議員、維持会員 中央日本土地建物株式会社）

部会員：片島康彦（理事）

◆開催日

2022年5月13日、2022年8月22日、2022年9月7日、2022年11月11日、
2022年12月21日（すべてオンライン開催）

ウ. 定款・諸規程改定検討部会

今後の組織のガバナンス、手続き規程、コンプライアンスを含めた抜本的な検討とそれに則した定款・諸規程の見直しを行った。

◆テーマ・課題

- ①定款の見直し

②関連諸規程の見直し

③ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討

◆構成メンバー

部会長 : 二瓶和敏(理事)

副部会長 : 吉崎晴子(理事)

部会員 : 小竹三恵子(理事)、松岡盛人(理事)

◆開催日

2022年5月10日、2022年7月25日、2022年11月4日、2022年12月22日、
2023年3月2日(すべてオンライン開催)

エ. 世界寺子屋運動部会

◆テーマ・課題

①世界寺子屋運動の進捗状況の確認および今後の方向性の協議

②構成団体会員、学校等を含む協力団体やドナーによる国際協力、国際理解、国際支援に資する総合的戦略の形成

③平和・世界遺産関連などの活動と教育分野の活動との連携可能性について更なる検討

◆構成メンバー

部会長 : 小池治(評議員/鎌倉ユネスコ協会)

副部会長 : 今村信大(理事)

メンバー : 識字専門家、国際協力・支援専門家(専門家は適宜選考、任命する)

◆開催日

2022年8月5日、2022年10月28日、2022年12月14日、2023年2月15日
(すべてオンライン開催)

②地域代表・青年代表理事会議

理事長のもとに、地域代表、青年代表理事会議を開催した。特に今期は、青年会員の活性化に関し議論を重ねた。

◆テーマ・課題

①全国大会の在り方の検討と調整

②ブロック代表者会議の在り方の検討

③都道府県連絡協議会の位置づけの検討

④青年の活性化の検討

⑤女性の役割の検討

⑥地域間、地域内、各協会・クラブのICT活用の推進

※上記ウ「定款・諸規程改定検討部会」のテーマ「③ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討」についても検討。

◆構成メンバー

議長 : 見上一幸(理事/東北)

地域代表理事 : 廣田美貴子(北海道)、佐藤直子(関東)、吉崎晴子(関東)、

今村信大(中部東)、小竹三恵子(中部西)、山中健(近畿)、
土居英雄(四国)、中山峰男(九州)

青年代表理事：長坂亮介、中谷祐太

◆開催日

2022年5月16日、2022年8月18日、2022年10月26日、2023年1月6日、2023年2月27日(すべてオンライン開催)

③連盟幹部会

◆役割

統一的施策をスピーディーに実行すべく、各部会・会議間の連携を図る。

◆構成メンバー

佐藤美樹(会長)、青木保(副会長)、大津和子(副会長/組織部会長)、見上一幸(理事/地域代表・青年代表理事会議長)、二瓶和敏(理事/定款・諸規程改定検討部会長)、牧貞夫(理事/財務部会長)、小池治(評議員/世界寺子屋運動部会長)、鈴木佑司(理事長)

◆開催日

2022年5月14日、2022年9月9日、2022年11月11日、2023年1月13日、2023年3月10日(すべてオンライン開催)

④担当理事

連盟の業務執行において、喫緊または中長期で取り組む必要がある事項について、会長はその担当理事を任命する。

担当理事は当該事項の対応を、事務局担当部と協力して行う。

ア. 未来遺産担当理事 南口理事

- ①未来遺産事業の今後の方針案の策定、事業協賛活動等
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

イ. 減災教育・復興支援担当理事 及川理事

- ①減災教育・復興支援事業の今後の方針案の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

ウ. ESD・ユネスコスクール関連担当理事 安田理事

- ①ESD・ユネスコスクール関連事業の今後の方針案(ACCUとの連携協働を通じた構成団体会員の活動の活性化施策)の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

エ. 知と平和の文化担当理事 吉田理事

- ①平和をテーマとした各地域ユネスコ協会との研修、研究会などの開催

- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

オ. 教育と社会の課題担当理事 小山田理事

- ①社会的課題、特に「貧困家庭の子ども」「外国につながる子ども」の教育支援に関する今後の方針案の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

附属明細書

2022 度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2023 年 6 月

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟